

# 若手担当者が直面する ゼロゼロ融資に関するQ&A

ここでは、ゼロゼロ融資に関する基本的な知識について、Q&A方式で解説します。

1

ゼロゼロ融資って  
どんなもの？



ゼ

ゼロゼロ融資とは、新型コロナウイルス感染症が国内で拡大し始めた2020年3

きました。

また、民間金融機関では各都道府県が制定する「新型コロナウイルス感染症対応資金」等の信用保証協会付の制度融資を通じて、同様に当初3年間は実質無利子の融資を提供しました。

この場合も、「最近1カ月の売上高が前年同月比▲15%となっている」等、売上高の減少幅が大きいことが要件でした。

## 特別利子補給制度の利用で 実質無利子で融資された

実質無利子の仕組みは以下のとおりです。政府系金融機関の場合、前述の「最近1カ月の売上高が前年同月比▲20%」等の要件を満たした事業者は、中小企業基盤整備機構の特別利子補給制度を利用することができました。

日本政策金融公庫の「新型コロナウイルス感染症特別貸付」の当初3年間の金利は「基準利率10・9%（基準利率√0・9%）」であり、そのままでは金利負担が発生します。そこで、特別利子補給制度を利用することで、事業者には差額が助成され、3年間は実質無利子になるという仕組みです。

民間金融機関の場合は、各都道府県が中小企業基盤整備機構から利子相当分の補助金を受け、各都道府県から民間金融機関に利子補給が行われることで事業者は3年間実質無利子で融資を受けることができました。

他の給付金・助成金等の効果もありますが、2021年の倒産件数が1966年以来の低水準（帝国データバンク「全国企業倒産集計2021年報」参照）になったこと等を勘案すれば、ゼロゼロ融資は事業者の資金繰りに大きく役立ったと考えられます。

具体的には、日本政策金融公庫の「新型コロナウイルス感染症特別貸付」、商工組合中央金庫の「危機対応融資」を利用する際に、特に売上高の減少幅が大きい事業者（例：小規模企業者を除く中小企業の場合は、最近1カ月の売上高が前年同月比▲20%等）は当初3年間、実質無利子で融資を受けることがで